

令和4年度 奈良市指定文化財の指定について

1. 経過

- 令和5年1月17日（火） 奈良市指定文化財の指定について、市教育委員会から奈良市文化財保護審議会に諮問。
- 令和5年2月17日（金） 奈良市文化財保護審議会から市教育委員会あて答申。
- 令和5年3月24日（金） 3月定例教育委員会において、奈良市指定文化財2件の指定を決定。

この結果、奈良市指定文化財の総数は161件となった。

2. 指定物件

分類	件名	所在
彫刻	木造地藏菩薩半跏像	奈良市阪原町（南明寺）
名勝	正暦寺福寿院庭園	奈良市菩提山町

もくぞうじぞうぼさつはんかぞう
(1) 木造地蔵菩薩半跏像

分類 彫刻
数量 1 軀
所在 奈良市阪原町
所有者 南明寺
法量 像高197.0cm 坐高142.0cm
説明 宝珠と錫杖を持ち、左足を下ろして坐る半跏形式の地蔵菩薩像である。市内に伝わる同形式の地蔵菩薩像の中で、帯解寺像（鎌倉時代、重要文化財）と並ぶ大きさをもつ。体の肉づけや衣の表現には、平安時代後期の穏やかな表現の特色がよく表れている。平安時代後期に広く制作された半跏形式の地蔵菩薩像の一例であり、市内東方の山間部に伝わる比較的大型の平安彫刻としても貴重である。



しょうりやくじふくじゅいんていえん
(2) 正暦寺福寿院庭園

分類 名勝
所在 奈良市菩提山町
面積 89,612 m²
説明 福寿院の表門から客殿（重要文化財）にいたる前庭と、客殿を囲む主庭からなる。延宝9年（1681）建立の客殿と同時期に作られたとみられ、昭和53年に日本庭園史家であり作庭家でもあった森蘊（1905-1988）が整備・改修を行った。本庭園は庭園と背後の樹林との一体性の高さが特筆され、観賞上の価値が高い。また、整備・改修は森蘊がその高い学術的見識に基づき行ったもので、庭園史における学術上の価値も高い。



(写真提供 正暦寺)

奈良市指定文化財の件数

令和5年3月24日現在

分 類		件 数	
有 形 文化財	建 造 物 <small>()内は棟数</small>	28 <small>(33)</small>	
	美 術 工 芸 品	絵 画	39
		彫 刻	37
		工 芸 品	9
		書跡・典籍	4
		古 文 書	0
		考古資料	7
		歴史資料	5
	小 計	<small>小計</small> 129	
無形文化財		0	
民 俗 文化財	有形民俗文化財	7	
	無形民俗文化財	3	
記念物	史 跡	8	
	名 勝	1	
	天然記念物	13	
	小 計	<small>小計</small> 22	
総 数		161	